

2022年9月16日 第3401回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 前田 会長
<斉 唱> 「それこそロータリー」 ソングリーダー 佐久間 博一 会員
<ゲスト紹介> *
<ビジター紹介> *ふじさわ湘南ロータリークラブ
国際ロータリー 第2780地区 パスト・ガバナー 相澤 光 春 様
国際ロータリー 第2780地区 パスト・ガバナー 田島 透 様
*相模原西ロータリークラブ
国際ロータリー 第2780地区 ガバナーエレクト 田島 敏久 様
田島 富美子 様
会長エレクト 青塚 淳次 様
義澤 彰 様
内田 孝幸 様
*平塚北ロータリークラブ
地区ポリオプラス委員会 副委員長 根岸 君代 様
*平塚湘南ロータリークラブ 田中 敏恵 様
*相模原かめりあロータリークラブ 会長 鎌田 えり子 様
幹事 横山 真琴 様
SAA 小松 貴美子 様

- <会長報告> *青森県大雨被害への義援金協力をお願い
*第1グループ会長・幹事会 報告
*ガバナー事務所より
・2023-24実施年度向け第1回地区補助金説明会のご案内について
10月8日(土) 14:00~16:00 於：第一相澤ビル6・8階 会議室

- <委員長報告> *社会奉仕委員会 加藤(淳)委員長よりポリオ根絶募金活動について
*VTT特別委員会 鈴木(豊)副委員長より活動予定報告について

- <幹事報告> *ガバナー月信NO. 3のご案内

- <出席報告> *出席委員会 田村副委員より9月16日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
116名	105名	83名(7名)	22名	3名	81.90%

<ニコニコ報告>

- ・相模原西RC 田島敏久GE、田島富美子様、青塚淳次様、義澤 彰様、内田孝幸様
小沢元RI理事 のお話を聞きに相模原からまいりました。よろしくお願ひいたします。
- ・平塚北RC 地区ポリオプラス委員会副委員長 根岸君代 様、平塚湘南RC 田中敏恵様
小沢元RI理事の卓話を聞きに参りました。よろしくお願ひいたします。
- ・相模原かめりあRC 会長 鎌田えり子様 相模原かめりあRCです。本日はよろしくお願ひ致します。
- ・相模原かめりあRC 幹事 横山真琴様 相模原かめりあRCです。本日は例会へお邪魔致します。
どうぞ宜しくお願ひ致します。
- ・相模原かめりあRC SAA 小松貴美子様 本日はよろしくお願ひ致します。
- ・三 役 相澤光春PG、田島 透PG、田島敏久GE、多くのお客様にお見え頂き、会場も溢れんばかりです。どうぞ本日の例会をお楽しみください。
- ・大野 健、澤 田、田 邊、波 島、大野 健、佐久間、飯 塚、鈴木 豊、小佐野、福 西、岡田 健、八 巻、齋藤 眞、高 橋、前 川 各会員

国際ロータリー第2780地区 相澤光春PG、田島透PG、田島敏久GEはじめ多くのお客様にお越し戴き御礼申し上げます。本日の例会どうぞごゆっくりお過ごしください。

- ・三 役 元R I 理事・ロータリー米山記念奨学会名誉理事長 小沢一彦会員、本日の3401回の卓話楽しみにしております。
- ・大野 備、比 護、児 玉、長谷川、椿、石 田、梁 井、立 石、岡田 備、永 井、大 石、福 西、中村 備、徳 永、澤 田、植 田、田 村、加藤 備、田 中、松本 備、小 平、勝 見、田 邊、波 島、大野 備、佐久間、上 林、谷、杵 渕、畑、飯 塚、鈴木 備、八 木、勝 間、小佐野、杉 浦、濱 田、木村、鷲 尾、猿 丸、加賀本、岡田 備、若麻績、八 巻、二 瓶、齋藤 備、北 村、小山 備、土 田、小林 (-)、鹿 島、江 口、小林 備、高 橋、鈴木 備、前 川、齋藤 備、藤 村、角 井、笠 木、兼 城 各会員
元R I 理事・ロータリー米山記念奨学会名誉理事長 小沢一彦会員、小沢会員の卓話を多くの会員が楽しみにしております。本日の卓話どうぞ宜しくお願い致します。
- ・小 沢 会員 本日は多くの方にお越しいただき有難うございます。
- ・齋藤 備 会員 VTT活動でフィリピンのセブ島に行つて来ます。久保田先生を団長に、前田会長、藤村会長エレクト、エノラ会員と同行させていただきます。

<卓 話>

元R I 理事

ロータリー米山記念奨学会 名誉理事長
小 沢 一 彦 会 員

皆さん、こんにちは。横須賀ロータリークラブには暗黙の決まりがあります。今回は3401回と1回ずれましたが、100回の節目の例会に卓話の機会を私は頂戴しております。例会を100回行うのには2年半掛かります。つまり、2年半で私は1回しか喋つてはいけないということなんです。今日の例会にはビジターが多いと2、3日前に前田会長から聞いていましたが、どなたがお見えになるのかは聞いていませんでした。今日、顔ぶれを見たら、ヒューストンで開かれた国際大会に行った人たちです。だから今日は、なぜ私が34回も続けて国際大会に行ったのか。なぜ6人しかいない国際ロータリーの国際大会の委員を5回も務めたのか。なぜそうなったかという話をしたいと思います。

その前にバスタガバナーが例会に出ると挨拶をしてもらう習わしがありますので、ここで突然ですが、ガバナーを勤めた頃にここへ来て挨拶してください。

(相澤 光春バスタガバナー、田島 透バスタガバナー、田島 敏久ガバナーエレクトを紹介し、各氏とも簡単な挨拶を行った。)

突然で申し訳ありませんでしたが、私の話より面白いです。これでいい時間になりました。

今年の前田会長は年功序列にとらわれない久し振りの会長です。今までもそういうことを横須賀はして来ました。年功序列でずっと来ると大体踏襲しかしくなります。前田会長は踏襲していません。その証拠に三役が蝶ネクタイをしています。私は44、45年ロータリーにいますが、三役が蝶ネクタイをして例会に臨む姿を見たのは初めてです。ソングリーダーの佐久間会員も蝶ネクタイをしています。似合うか、似合わないかは皆さんのご判断によるところです。これを誰か真似する人がいるかいないかは今後の話でしょう。

私はどうしたかという、会長になった時に、7月にまず東京クラブへ副会長と幹事を連れて行きました。大河原さんと小佐野さんです。それからその次に自分のところのスポンサークラブである横浜クラブへ行きました。東京の会員は450人ぐらいいて帝国ホテルで例会を開いています。横浜はスポンサークラブで会員数は170人ぐらいいです。それからこの地区のガバナーのクラブへ行きました。当時のガバナーの所属は



茅ヶ崎湘南クラブでした。ロータリークラブといえども会員数が450人、170人、40数人では随分差があるだろうということを見せたことは、良い勉強になったであろうと私は思いました。

私はどのクラブへ行っても挨拶をさせられます。大正10年に日本で最初に生まれたクラブとはどのようなものか。自分たちのスポンサークラブはどういうものかということ、副会長と幹事に見せ、何かを感じ取ってもらいたくて連れて行ったのです。

その時の当クラブの会員数は82人で、県内での会員規模は4番目でした。1番目が大和、2番目が小田原、3番目が鎌倉、そして横須賀はいつも4番目でした。1番歴史のあるクラブなので、会員数もトップにしたいということで、大河原さん、小佐野さんの2人にそう話しました。すると、大河原さんが例会場の入口に職業分類の大きな看板を立て、空欄となっている職業欄を皆で埋めていったのです。現在、職業分類は軽視される傾向にありますが、これは大事です。その時、大和の会員が117人いました。その当時の大和の商工会会長で、後に商工会議所の会頭になった方は、いすゞ自動車の下請会社の会長でした。ですから、いすゞ自動車関連の方を職業分類に手を加えて皆会員に引き込んでしまっていました。しかし、いすゞ自動車が大和から撤退したので、会員数は25人くらいに落ち込んでしまったと思います。その後いすゞ自動車が撤退してしまいました。今大和は35人くらいに落ち込んでしまったと思います。このようなことからわかるように、職業分類をきちんとすることは大事なのです。

その時の横須賀の会長は大河原さん、副会長が小佐野さん、幹事は吉田さんで、この3人が28人増やしてくれました。しかしながら、次の年の6月30日までに5人辞めました。うち2人は亡くなりました。それで103人で終わったのですが、当クラブの会員数は県内トップになりました。

他所のクラブの方に申し上げますが、当クラブでは、例会テーブルの席替えをしています。多くのクラブでは、第一テーブルにずっと、半永久的に年配者が座っています。

昔の横須賀北クラブがそうでした。ですから、23年前に公式訪問に行った時に「あなたたちはそこが来賓席だと思って座っているが、私から見ると隔離病棟に入れられた老人のように見えます。」と私は酷いこと言いました。(いい得て妙なので)皆、困ってましたよ。ですから、当クラブでは3か月に1度席替えを行っています。なぜ皆が知り合いになっているかというテーブルミーティングをしているからです。これらは全て私が決めたことです。

私は2016年のソウル国際大会の委員長でした。この大会には日本から7千人来てくれました。この人数は大したものです。その時のRIの会長はスリランカのK.R. “ラビ” ラビンドランという方でした。スリランカで何人登録したと思いますか？210人です。私がスピーチして、小沢の英語は分からなかったと言われるのが嫌で、英語でのスピーチだけオーストラリアの方にしてもらいました。国際大会の委員長になると、必ずRIの会長になります。国際大会の委員長を務めて、会長になっていないのは私だけです。その方はすぐ会長に立候補して、ソウル大会が終わらないうちに会長になりました。オーストラリアから来た方の登録は360人でしたから、日本の皆さんが協力しなければできないことでした。委員長になって初めてわかったのですが、基本的に国際大会の固定費は決まっています。もし登録がない場合はいくら掛かろうとも全部委員長が被るのです。1人がそれを被り、4千万円か5千万円を払わされたのではないのでしょうか。そういうこともあるのです。ですが、日本の皆さんが7千人も行ってくれたので、私は一銭も負担しませんでした。

33年前にこの神奈川1地区には100クラブぐらいありました。33年前ですから私は51歳でした。地区の委員長をずっとやっていました。会長をやる前です。その時にソウルの第1回大会がソウルオリンピックの次の年にあったのです。1989年です。その時に13ぐらいの昔で言う分区があり、その分区代理が終わるとソウル大会の委員長になるのです。そのころ横須賀には委員長が居たのですが、残念ながら亡くなってしまったのです。私は他の委員長もやっていたのですが、その時のガバナーさんから「小沢さん、委員長は1つも2つも一緒だから、2つぐらいやりなさい。」と言われ、それでソウル大会の委員長をやったのです。

今日は上林会員がいらっしゃるので、面白い話をしましょう。私が地区に出て行くきっかけは、上林会員が横須賀から地区青少年交換に出ていた頃の話です。その時のガバナーは平気で何でも言うから、ぐちゃぐちゃしていました。それで、その後には1番おとなしい人間が横須賀からそこに行きましようということで、私は地区に行くようになったのです。上林会員のお蔭です。驛馬(かんば)という気性の荒い制御しにくいあばれ馬がいるのです。

その時、地区にソウルの大会の副委員長が居ました。あの頃は、地区も含めて全体がかなり勝手なことをしてました。ソウルオリンピックの次年度だからいくらでも行くだろう、ということになりました。旅行業者はすでに決まっています費用は17万円です。高いと思うでしょう。その時、私が手挙げまして、決めた業者を使って17万円で行くのか、それとも違う業者を使ってもっと安価で行くか、どちらにしますかと訊けば、ダメだとは言えないですね。それで私は横須賀から128人連れてソウルへ行ったのです。1989年のことです。しかし、組織というのは恐ろしいものです。ソウルに着いてロッテホテルへ向かっていたら途中で50人は泊まれませんかと急に言われました。私はソウルへは青年会議所の時代から、4,50回行って分かってるので、バスも貸さないというので、他から3台用意し、そこに128人を乗せて温泉へ向かいました。人間国宝の高麗青磁の登り窯を見学し、温泉に泊まり、その後民族村へ行きました。皆大変喜んでくれました。よっぽどこちらの方が楽しかったと思います。しかし、バスの手配など大変でした、これが第1回目でした。その時に「嘗められてたまるか！」と思い、それからずっと行って、国際大会へは34回行きました。34回連続して行っていますが、その間2回はウェブでの開催でした。

私が国際大会行くのは、楽しいから行くわけではありません。ソウルでそういう悔しい目にあったからです。旅程が変わっても私はお金を一銭も取らなかったのですから、皆は嬉しかったと思いますが、私は悔しかったのです。払っていますから。

23年くらい前ですが、アルゼンチンのブエノスアイレスで世界大会があった時がありました。パストカバナーやガバナーもいましたが、私は35人のグループを組織しました。横須賀からもかなり参加しました。ロータリアンではないのに付いてきた方がいました。オーストリアのザルツブルグに行った、ブエノスアイレスにも行った。タンゴなど素晴らしいです。バンドなどジャンギャバンのような人が弾いているのだから。ブラジルにも連れて行きました。リオデジャネイロ、イグアス、サンパウロ。連れて行った人は人生で未だかつて無い貴重な経験積んだと思います。実はあの頃、私はブラジルで牧場とコーヒー園を5人でやっていました。だから頻繁に行っていたので、社会事情はよく知っていました。

国際大会行くと本当に感激が走ります。ヒューストン国際大会には23,000人が登録して15,000人が行きました。日本からは470人が行き、朝食会は220人ぐらい出席しました。

開会式では200の国と地域の国旗が入ってくるのです。いつも4万人ぐらい参加しますから2回行うのですが、今回は1万5千人でしたので1回でした。1万5千人でも大したもの。終わりの方にウクライナの国旗が入ってきました。何のアナウンスも無いのに、全員立ち上がりました。そして拍手が終わらないのです。私はあの瞬間を見ただけで、ヒューストンへ来て良かったと思いました。こんな感激はありません。

そして、今回行った中でもう一つ。分科会から当クラブのエノラ会員がニコニコしながら出てきました。「楽しかった」と言っていました。横須賀ロータリーに、そのような人はいないと思います。エノラ会員の事を調べましたら、マサチューセッツ工科大学を出たのち修士課程を修了していました。彼女は大したもの。アメリカでもロータリーに2年ぐらい在籍していたそうです。当クラブに入会して5,6年経つと思います。熱心に委員会に出たりして、今度、VTT特別委員会の委員としてフィリピンへ行くというのも大したものでも。もし、10年過ぎて、彼女が横須賀の会長になったら、凄い会長になると思います。このように横須賀ロータリーほど他にも人材揃ってる凄いクラブはないと、私は自負しています。ですから、当クラブからガバナーを輩出しなければならないと思います。

ここからは米山記念奨学会の話しましょう。米山記念奨学会には85億円の基金があります。昔はそれを8パーセント、10パーセントで運用していたので、資金が潤沢でした。この頃の事務局長の年俸は千二百万円でした。事務局長の所属するロータリーの年会費も財団が負担している。そして、土、日曜日には招待を受けたことで、月曜日からは代休を取る。そんなことはダメです。私はそれを踏襲してる者を皆変えていきました。評議委員も理事もいるのですが、金集めのための組織のため仕事をさせないから、評議委員も理事も実態を何も知らない。で、評議委員も理事もダメだとなってしまいました。運用するにも金利が1パーセントを切るようになってからは、職員の給料を払うにも事を欠いていました。1,100人いた奨学生も700人にまで落ち込んでしまいました。それで困った時は私が必要なのです。人も変え、定款も変えました。島根県にホシザキという会社があり、そこに青年会議所時代からの知り合いがいました。二代目ですが、自分のお父さんが島根で高校を出たものの大学へ行く経済力が無かったのですが、その時、誰かがお金を出してくれたそうです。そういう感謝があって、お父さんは財団を作っていました。その二代目は、青年会議所の時は私の会のメンバーだったこともあり、「小沢さんが米山奨学財団の理事長になるのだから、自分と

女房が持っている株を全部米山奨学財団に寄付します。」ということになりました。だから配当金がもらえるわけです。売らないことと、議決権の行使はしないという条件は付きました。その時計算したら650億円ありました。650億円全部もらったらまずいので、これは財団を作ってそのうちの4分の1をもって150億円もらいましたので、配当は毎年1億5千万円ぐらいあります。これで米山記念奨学会は立ち直りました。体質もガラッと変わり寄付が集まるようにもなりました。

今、米山記念奨学会の副理事長は相沢さん。私は米山の名誉理事長です。それで、日本財団というのが別にあります。日本財団は千さん、大正12年生まれ、千玄室さん、昔の千宗室さんですが、「小沢さんもう1期やらせてください。」というのです。副議長は3人いますが、それぞれ、昭和6年、6年(91歳)、13年(84歳)生まれです。副議長の3人は高齢で体が弱いのですが、議長の千さんが大正12年生まれの99歳で一番元気なのです。会議は原稿通り進行していくのですが、自分のパートは進行書を持ってから分かるものの、副議長たちは耳が聞こえないから、いつも私の顔見て、発言のきっかけを求めてきます。発言するものの、議長から「もっと大きい声で言ってください。」という注意が全然聞こえないものですから、小さい声のままで言ってるというような状況です。このようなことから、私が副議長だけやることになりました。理事長は千さんで、もう100歳ですが、お元気です。ロータリーを一生懸命やってる人は絶対に長生きしますが、今日の例会を欠席した人は早死にするとします。

国際大会に話を戻します。あのときは35人で行きました。費用は安かったと思います。全部ビジネスクラスでした。エージェントは私がやりました。35冊パスポート持って、乗る時から降りてからすべて手配しました。年功序列で行っている人は必ずしも成果挙げていないかもしれない。私も年功序列でした。私より2、3か月早い丸山さんの方が早くやったし、それより2、3か月早い、長澤さんも早くやっています。昔は全く年功序列でした。横須賀にはこんなに良い人材がいるのだから放っておいてはいけません。今年の前田会長のやり方に私は大満足です。10月23日(日)にはポリオ根絶街頭募金活動を行って頂くのは嬉しいことです。私はポリオの委員会に7年いました。そして日本政府からも多くの資金をもらいました。たまたま10月23日に衆参議員でポリオ連盟を作ることとなり、その会合へ行き私が説明しなければなりません。私は募金活動へは参加できませんが、前田会長は前例を踏襲しないで、いろいろなことに捕らわれなくて、その時1番大事なことを考えて頂くということに心から感謝したいと思います。

持ち時間の終了まであと30秒でなりますので、拙い卓話を終わらせて頂きます。次は2年半後ですから生きていかどうか分かりません。私は裸一貫で親父から飛び出しました。親父は全国の個人所得で30位ぐらいでした。私は5つの会社を興しました。4つ目のパークホテルは35歳の時にオープンさせました。5つ目の美味しい広場は45歳の時にオープンさせました。この話を2年半後に話そうと思っています。この話は今までしたことはありません。この話は有料にしようかと思っています。2年半後に、また皆さんとお会いしたいと思います。今日はありがとうございました

<閉会・点鐘> 13:30 前田会長

週報担当 南 裕 貴